

## 2.6 環境配慮行動の実施意向

環境配慮行動の実施意向を聞いたところ、「すでに行っており今後も引き続き行いたい」との回答は、「ごみを地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにする」が最も多く、82.7%となった。「日常生活において節電等の省エネに努める」(73.0%)、「油や食べかすなどを排水口から流さない」(70.4%)、「日常生活において節水に努める」(70.2%)も7割を超える高い割合となった。

「これまでに行ったことはないが今後は行いたい」人の割合は「講習会等で得た環境保全に関することを実践する」が最も多く47.7%となった。

「すでに行っており今後も引き続き行いたい」及び「これまでに行ったことはないが今後は行いたい」の合計である「今後行いたい」人の割合が8割を超えたのは、以下の項目となった。また、「今後行いたい」人の割合が最も低いものは「体験型の環境教育・環境学習活動に参加する」(52.1%)となった。

### 【「今後行いたい」人の割合が8割以上の項目】

「ごみを地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにする」：89.8%

「油や食べかすなどを排水口から流さない」：87.1%

「日常生活において節電等の省エネに努める」：86.2%

「日常生活において節水に努める」：86.2%

「日常生活においてできるだけごみを出さないようにする」：85.1%

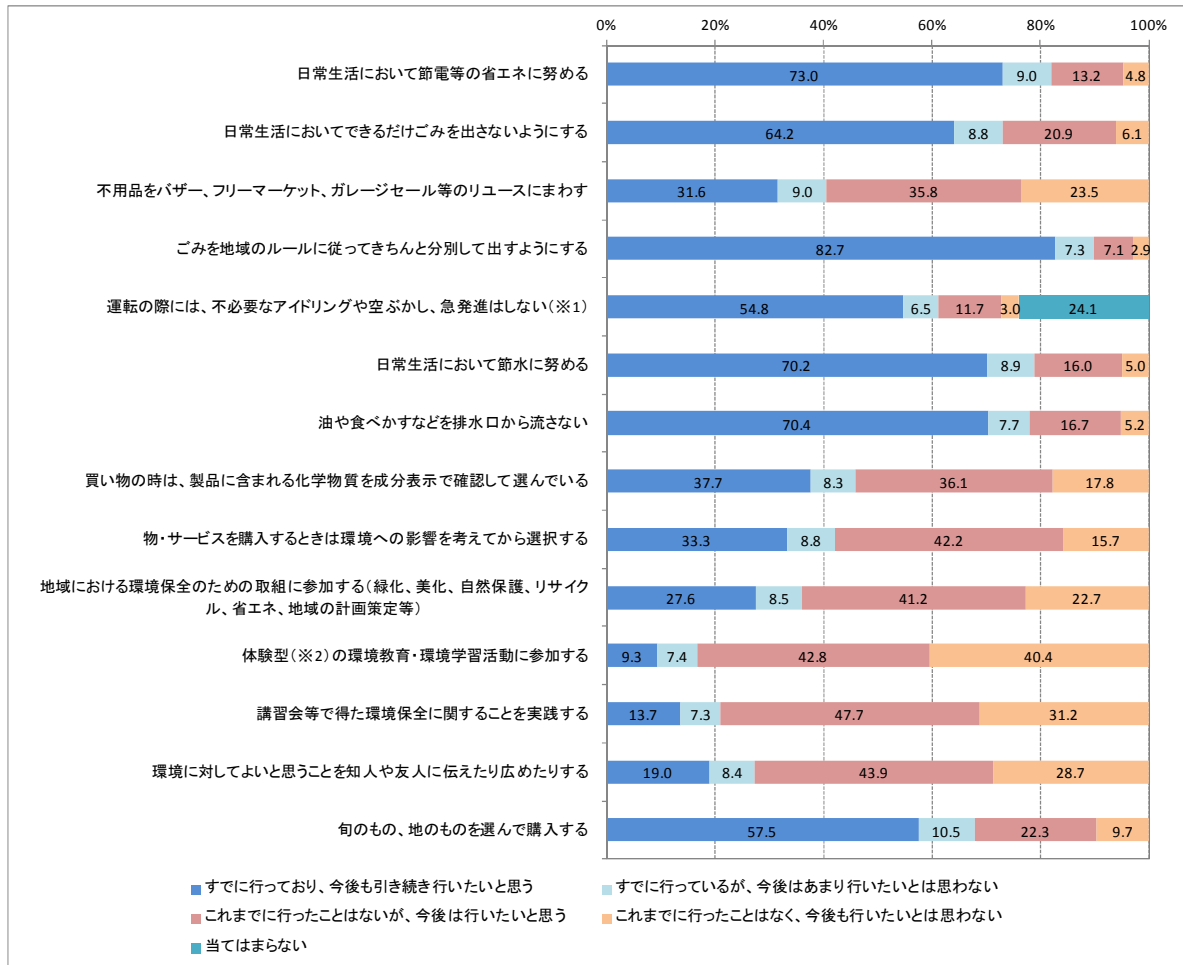


図 34 環境配慮行動の実施意向（行動別）

※「当てはまらない」：「運転の際には、 unnecessary アイドリングや空ぶかし、急発進はしない」の設問についてのみ設定している選択肢

※2：体験型の環境教育・環境学習活動とは、たとえば、自然観察会や水質調査、河川・砂浜・地域の美化・清掃活動、植林活動など、環境やその問題に関する体験活動や調査活動などの具体的な実践のこと。講習や勉強会などの座学のみのもは含まない。

（以下同じ）

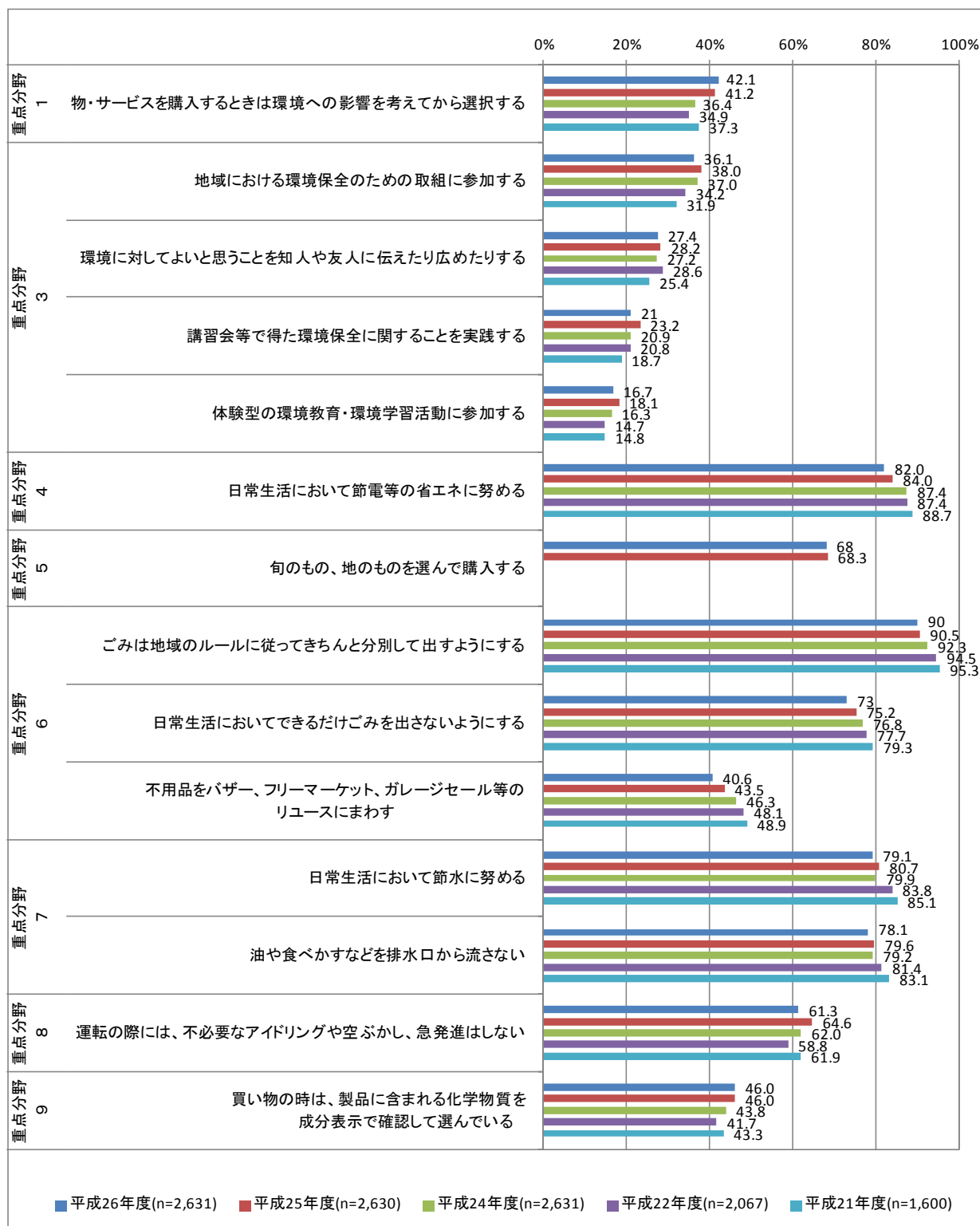


図 35 環境配慮行動を実施している人の割合（時系列）

※ 「旬のもの、地のものを選んで購入する」は昨年度からの設問

※ 「すでに行っており今後も引き続き行いたい」及び「すでに行っているが、今後はあまり行いたくない」の合計

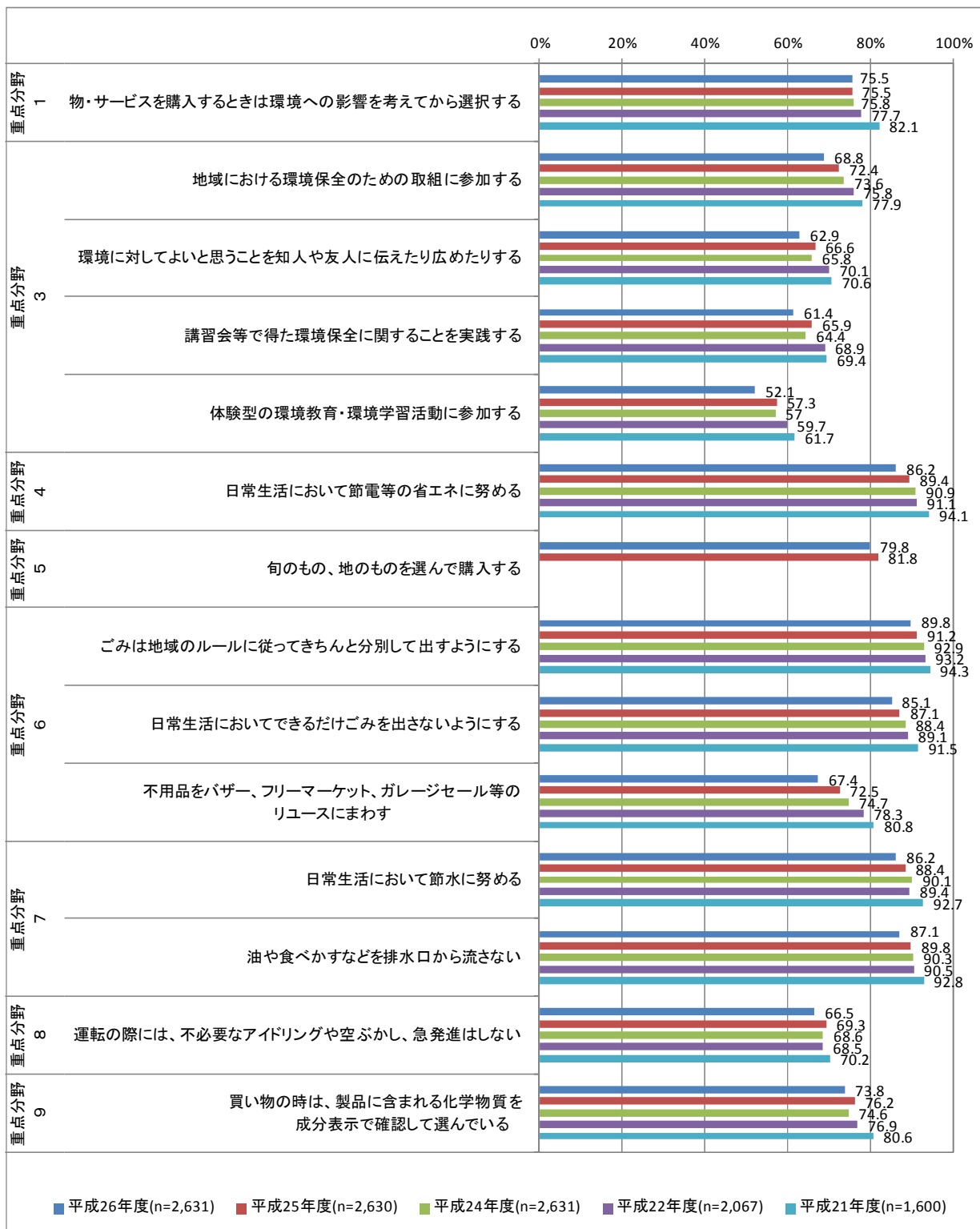


図 36 環境配慮行動を今後実施したい人の割合（時系列）

※「旬のもの、地のものを選んで購入する」は昨年度からの設問

※「すでに行っており今後も引き続き行いたい」及び「これまでに行ったことはないが今後は行いたい」の合計

「地域における環境保全のための取組への参加」、「体験型の環境教育・環境学習活動への参加」、「講習会等で得た環境保全に関することの実践」、「環境に対してよいと思うことを友人や知人に伝えたり広めたりする」の各環境配慮行動について、取組をはじめた又はこれからはじめようと思ったきっかけを聞いたところ、「環境に対してよいと思うことを友人や知人に伝えたり広めたりする」以外の項目では、「地方公共団体の案内等」が最も多くなった。「環境に対してよいと思うことを友人や知人に伝えたり広めたりする」については、「覚えていない」が最も多くなった。

また、いずれの項目でも、「覚えていない」という回答が3割程度となった。

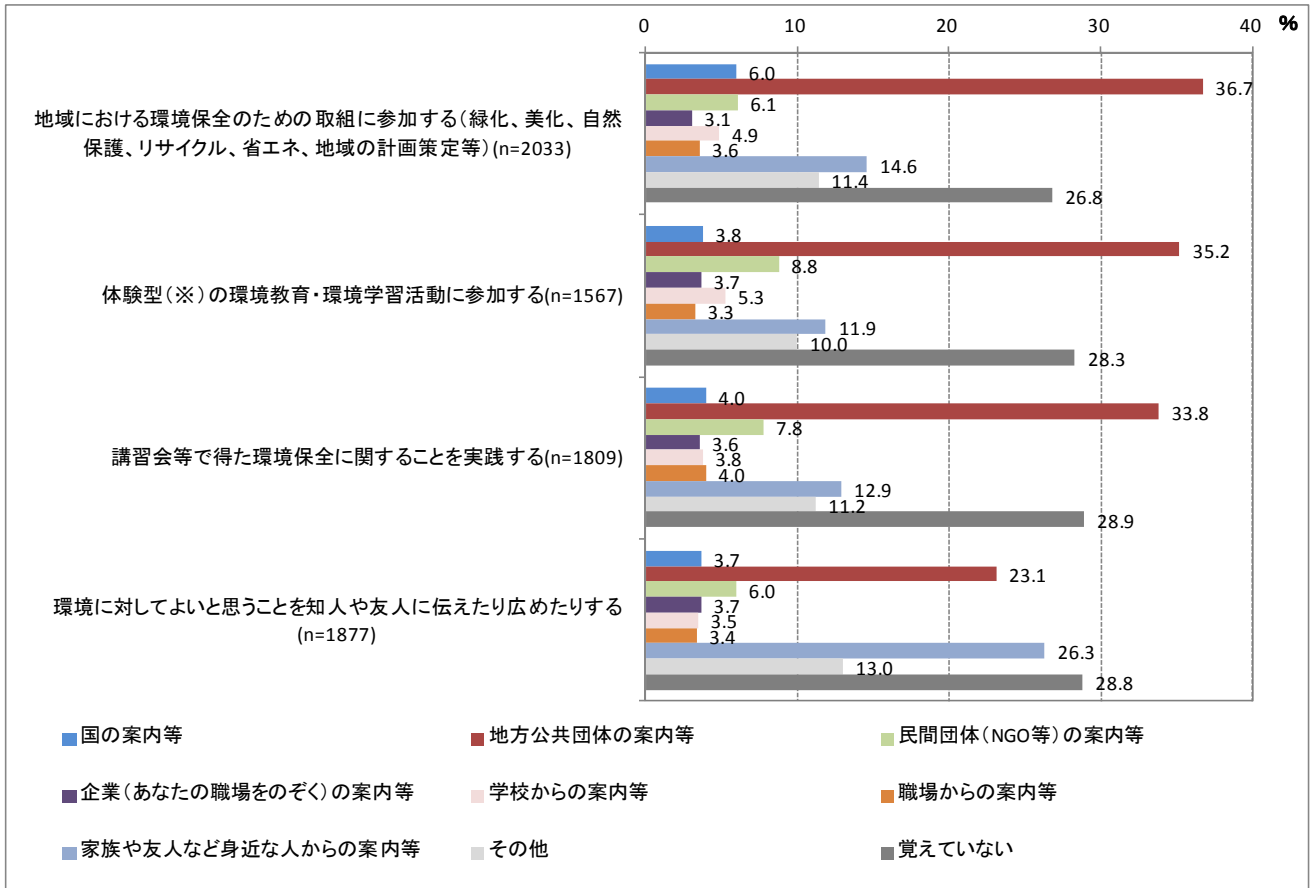


図 37 環境配慮行動の実施のきっかけ

「地域における環境保全のための取組への参加」、「体験型の環境教育・環境学習活動への参加」、「講習会等で得た環境保全に関することの実践」の各環境配慮行動について、取組を実施している又はこれから実施しようと思っている場を聞いたところ、いずれの項目でも、「地方公共団体の主催する活動」が最も多くなり、次いで「家庭・個人・友人となど個人的な活動」が多くなった。

いずれの項目も実施又ははじめようとしたきっかけは「地方公共団体の案内等」が多いことから、「地方公共団体」の案内等で取組はじめ、そのまま地方公共団体で実施する又は実施しようと考えている人が多いと考えられる。

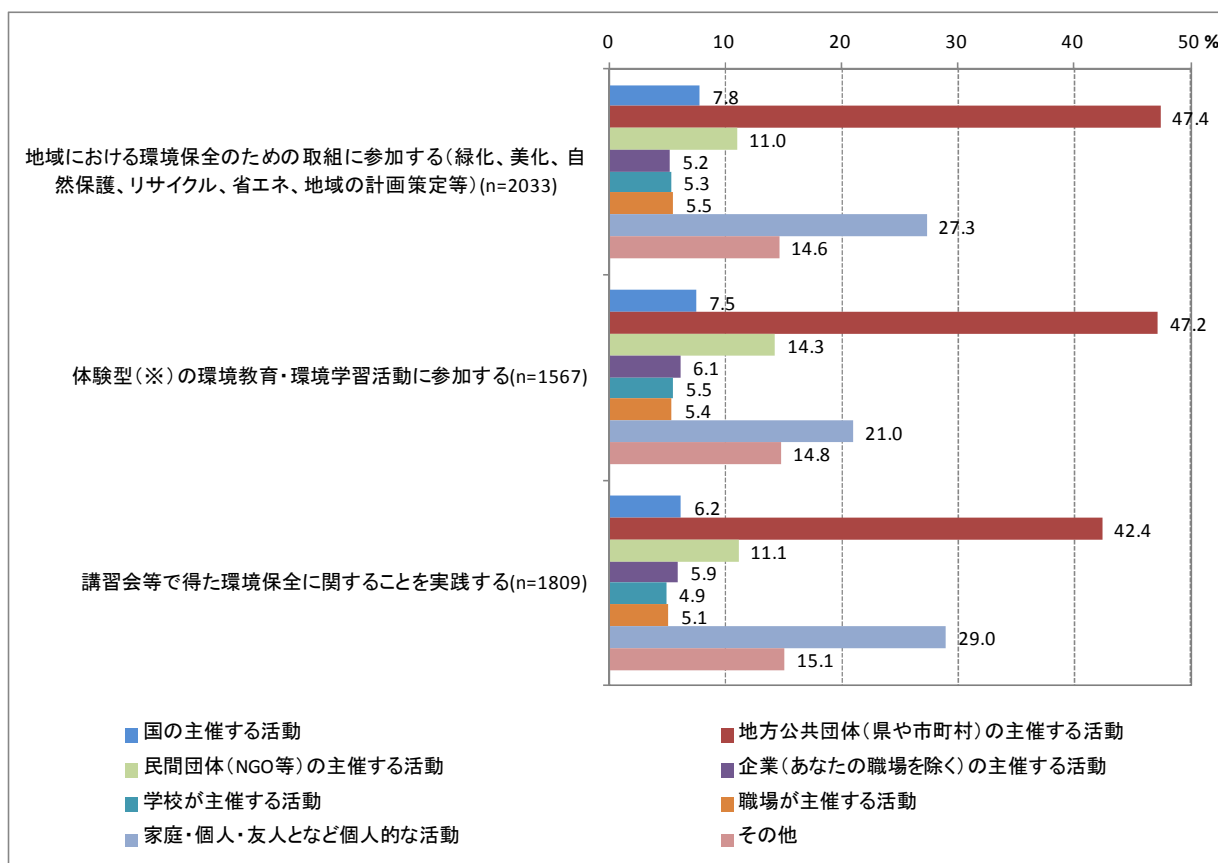


図 38 環境配慮行動の実施場所

また、「地域における環境保全のための取組への参加」、「体験型の環境教育・環境学習活動への参加」、「講習会等で得た環境保全に関することの実践」、「環境に対してよいと思うことを友人や知人に伝えたり広めたりする」の各環境配慮行動について、「行いたくない」と考えている人に、その理由を聞いたところ、「地域における環境保全のための取組に参加する（緑化、美化、自然保護、リサイクル、省エネ、地域の計画策定等）」と「体験型の環境教育・環境学習活動に参加する」では、「面倒である」が最も多くなった。「講習会等で得た環境保全に関することの実践」と「環境に対してよいと思うことを友人や知人に伝えたり広めたりする」については、「特に理由がない」が最も多くなった。

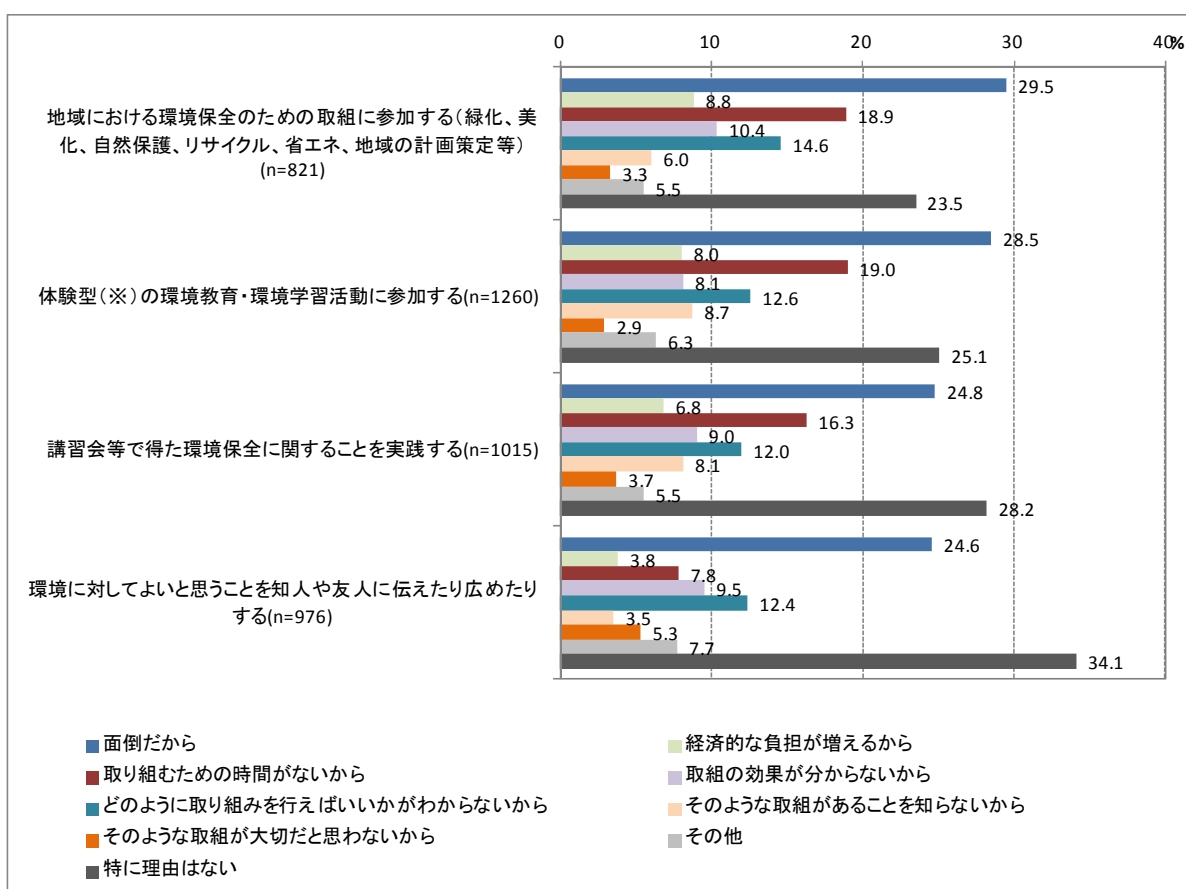


図 39 環境配慮行動を行いたくない理由